



2021年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年3月5日

上場会社名 株式会社鳥貴族ホールディングス
 コード番号 3193 URL <http://www.torikizoku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 忠司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部部長 (氏名) 小畑 博嗣

TEL 06-6562-5333

四半期報告書提出予定日 2021年3月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第2四半期の業績(2020年8月1日～2021年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	10,831	37.8	1,217		1,035		827	
2020年7月期第2四半期	17,410	2.4	1,358	278.4	1,344	294.9	789	1,372.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第2四半期	71.44	
2020年7月期第2四半期	68.12	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第2四半期	17,315	4,839	27.9
2020年7月期	19,953	5,667	28.4

(参考)自己資本 2021年7月期第2四半期 4,839百万円 2020年7月期 5,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期		4.00		0.00	4.00
2021年7月期		0.00			
2021年7月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年7月期の第2四半期末の配当につきましては、直近に公表されている配当予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日(2021年3月5日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当無配)に関するお知らせ」をご覧ください。また、2021年7月期(予想)の期末配当金につきましては、未定としております。

3. 2021年7月期の業績予想(2020年8月1日～2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年7月期の通期業績予想につきましては、直近に公表されている業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日(2021年3月5日)公表いたしました「第2四半期累計期間の業績と前期実績値との差異及び通期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。また、当社は2021年7月期第3四半期より連結決算へ移行いたしますので、上記数値を「-」としております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年7月期2Q	11,622,300 株	2020年7月期	11,622,300 株
期末自己株式数	2021年7月期2Q	34,764 株	2020年7月期	34,764 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年7月期2Q	11,587,536 株	2020年7月期2Q	11,587,539 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の抑制により、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。特に外食業界におきましては、2020年4月に出された緊急事態宣言解除以降、個人消費は回復の兆しもみられていたものの、2020年11月には東京都、大阪府、愛知県では、アルコール提供を行う飲食店への営業時間短縮要請が出され、2021年1月には再度、緊急事態宣言がなされたことにより、特に居酒屋業界におきましては、営業時間が大幅に制限され、多大な影響を受けております。

当社におきましては、2020年5月の緊急事態宣言解除以降、お客様と従業員の安全を第一に感染症対策を徹底しながら店舗運営を再開致し、各自治体の自粛要請等が解除されると売上高は徐々に回復したものの、再度、政府及び各自治体からの営業時間短縮要請を受け、これに従い営業を行ったことにより、当第2四半期累計期間における既存店売上高は前年同期比64.3%となりました。

なお、当第2四半期累計期間は1店舗の新規出店と8店舗の退店により、当第2四半期会計期間末日における「鳥貴族」の店舗数は622店舗となりました。当社の直営店は、6店舗退店し387店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間は、東京・大阪・愛知をはじめとした営業時間短縮要請が大きく影響し、売上高は10,831,252千円(前年同期比37.8%減)、売上総利益は7,547,541千円(同39.3%減)となりました。また、売上高減少に併せて変動費を中心としたコスト管理に徹底し取り組んだこと等により、販売費及び一般管理費は8,765,080千円(同20.9%減)に抑えられたものの、売上高減少の影響が大きく、営業損失は1,217,538千円(前年同期は営業利益1,358,506千円)、経常損失は1,035,250千円(前年同期は経常利益1,344,113千円)、四半期純損失は827,826千円(前年同期は四半期純利益789,368千円)となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は17,315,753千円となり、前事業年度末と比較して2,637,514千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が減少したこと、減価償却により固定資産が減少したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債は12,476,320千円となり、前事業年度末と比較して1,809,688千円の減少となりました。これは主に、長期借入金を始めとする有利子負債の返済等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産は4,839,433千円となり、前事業年度末と比較して827,826千円の減少となりました。これは利益剰余金が、四半期純損失の計上により減少したことによるものであり、自己資本比率は27.9%(前事業年度末は28.4%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2021年7月期第3四半期より連結決算へ移行いたします。2021年7月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難であったため、これまで未定としておりました。今後も新型コロナウイルス感染症の動向などの外的要因によって業績が変動する可能性はありますが、ワクチン接種の開始や感染者数の落ち着き等の社会的動向も踏まえて、以下の前提条件をもって算定を行い、通期業績予想を公表することといたしました。

- ・2021年2月～4月にかけては各自治体からの要請による営業時間短縮や来店客数の落ち込み等の影響があるものの、2021年5月以降は各自治体からの時短要請等は限定的なものと想定し、居酒屋業界においても徐々に回復へ向かうことを前提としております。
- ・現在、申請手続きを順次進めている各自治体からの感染拡大防止協力金を当下期に受領できるものと想定し、当該協力金に関する収益を特別利益へ一定程度織り込んでおります。

以上のとおり、一定の仮定を含むため、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって、通期連結業績予想は大きく変動する可能性があります。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。なお、個別業績予想数値については、投資情報としての重要性が大きいと判断されるため記載を省略しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,675,234	6,811,850
売掛金	342,580	213,538
商品及び製品	109,027	82,606
原材料及び貯蔵品	16,124	14,491
その他	1,031,891	707,300
流動資産合計	10,174,859	7,829,787
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,081,983	5,670,852
その他(純額)	736,238	552,326
有形固定資産合計	6,818,222	6,223,178
無形固定資産	59,113	51,775
投資その他の資産		
差入保証金	1,596,874	1,571,523
その他	1,304,617	1,639,487
貸倒引当金	△420	—
投資その他の資産合計	2,901,072	3,211,010
固定資産合計	9,778,408	9,485,965
資産合計	19,953,267	17,315,753
負債の部		
流動負債		
買掛金	986,308	437,930
1年内返済予定の長期借入金	749,093	1,117,401
未払金	1,167,839	800,690
未払法人税等	92,299	102,901
賞与引当金	323,704	320,726
株主優待引当金	28,302	36,580
その他	2,014,754	1,597,556
流動負債合計	5,362,301	4,413,786
固定負債		
長期借入金	7,461,143	6,746,195
退職給付引当金	83,436	80,468
役員株式給付引当金	10,662	10,662
資産除去債務	1,074,980	1,067,438
その他	293,484	157,768
固定負債合計	8,923,706	8,062,533
負債合計	14,286,008	12,476,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,829	1,491,829
資本剰余金	1,481,829	1,481,829
利益剰余金	2,783,548	1,955,722
自己株式	△89,947	△89,947
株主資本合計	5,667,259	4,839,433
純資産合計	5,667,259	4,839,433
負債純資産合計	19,953,267	17,315,753

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
売上高	17,410,035	10,831,252
売上原価	4,974,308	3,283,711
売上総利益	12,435,727	7,547,541
販売費及び一般管理費	11,077,221	8,765,080
営業利益又は営業損失(△)	1,358,506	△1,217,538
営業外収益		
受取利息	79	8
保険解約返戻金	5,403	7,805
受取保険金	6,704	1,009
受取清算金	—	199,833
その他	5,876	10,817
営業外収益合計	18,063	219,473
営業外費用		
支払利息	22,795	26,821
支払手数料	502	2,771
その他	9,158	7,592
営業外費用合計	32,456	37,184
経常利益又は経常損失(△)	1,344,113	△1,035,250
特別利益		
固定資産売却益	—	189
特別利益合計	—	189
特別損失		
固定資産除却損	3,917	8,146
減損損失	119,626	68,048
店舗臨時休業による損失	—	13,872
その他	3,325	724
特別損失合計	126,868	90,792
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,217,244	△1,125,853
法人税、住民税及び事業税	320,648	43,093
法人税等調整額	107,227	△341,120
法人税等合計	427,876	△298,026
四半期純利益又は四半期純損失(△)	789,368	△827,826

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。